

2022年10月7日

各 位

会 社 名 株式会社リプロセル
代表者名 代表取締役社長 横山 周史
(コード番号：4978、東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 赤野 滋友
(TEL. 045-475-3887)

AMED 公募事業「再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術開発事業」への採択に関するお知らせ（研究開発課題名：筋萎縮性側索硬化症(ALS)に対するヒト iPS 細胞由来グリア前駆細胞(iGRP)の細胞移植による細胞治療の企業治験開始のための研究開発)

1. 概要

この度、当社の研究開発事業「筋萎縮性側索硬化症(ALS)に対するヒトiPS細胞由来グリア前駆細胞(iGRP)の細胞移植による細胞治療の企業治験開始のための研究開発」(以下「本事業」)が国立研究開発法人日本医療研究開発機構(Japan Agency for Medical Research and Development:AMED)の公募事業「令和4年度 再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術開発事業(再生・細胞医療・遺伝子治療産業化促進事業)」に採択されましたので、お知らせいたします。

近年、ヒト体性幹細胞やヒトiPS細胞の臨床応用を目指した研究開発が世界中で盛んに行われており、難治性疾患に対する治療効果が期待されています。筋萎縮性側索硬化症(ALS)は体を動かすための神経系(運動神経)が変性し、これにより脳から「筋肉を動かせ」といった命令が伝わらなくなり、筋肉が痩せていく病気です。運動神経のみが変性するため、意識や五感は正常であり、知能の低下もありません。病状の進行が極めて速い一方で、有効な治療法は確立されておらず、日本では指定難病とされています。本疾患における運動ニューロン変性にはグリア細胞が深く関わっていることが知られています。当社は、iPS細胞からiPS細胞由来グリア前駆細胞(iGRP細胞)を分化誘導する技術を開発しました。本事業において、ALSに対するiGRP細胞による細胞治療の企業治験開始のための研究開発を加速化させ、一日でも早い臨床試験の開始を目指します。

2. 研究開発課題

研究開発課題名：「筋萎縮性側索硬化症(ALS)に対するヒト iPS 細胞由来グリア前駆細胞(iGRP)の細胞移植による細胞治療の企業治験開始のための研究開発」

研究代表機関名：株式会社リプロセル

研究開発期間：2022年10月3日～2025年3月31日(3年間)

2022年度 交付金額：39,999千円(予定)

なお、最終的な交付金額及びその計上時期はAMEDからの交付決定通知により確定いたします。

3. 業績に与える影響

正式な交付金額の確定は来年度以降を見込んでおりますので、確定し次第、速やかにお知らせいたします。なお、本件が当社の2023年3月期連結業績に与える影響はありません。

以上